●庄内森林管理署へようこそ

庄内森林管理署は山形県北西部に位置する庄内地方の国有林（面積約92,000ha）を管理しています。

庄内地方は、穀倉地帯である庄内平野を、月山を中心とする出羽丘陵一帯、日本海、朝日山地、鳥海山がそれぞれ東西南北を取り囲む地勢であり、この地域の森林は、豊かな自然環境や優れた景観に恵まれ、磐梯朝日国立公園及び鳥海国定公園等に指定されています。

また、日本海に沿って細長く伸びる庄内海岸林（延長約34km、面積約2,400ha）は、庄内海浜県立自然公園に指定されています。

庄内地方の国有林の特徴は、全体の85%がブナを始めとする天然林であり、豊かな自然環境が多く残されていることから、「朝日山地森林生態系保護地域」や「鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊」に指定し、森林生態系の保護と生物多様性の保全に努めています。

また、日本海沿岸のクロマツ林の約1/3は国有林であり、海風・飛砂等による被害の軽減に大きな役割を果たすと共に、住民の憩いの場としても広く利用されています。

鳥海山

万里の松原

高館山

大鳥池（朝日連峰）

弥陀ヶ原湿原（月山）